

## たすねてみたら

No.98

### 天覧開会式で行進

かつての甲子園球児を訪ねる  
元・下館一高2年エース投手



宮田 勲さん(77歳)

松山南団地

生活が苦しい事情を知った監督さんたちが手をつくし役場の敷地内の

でも頑張って甲子園出場を果たしました。

1959年8月、第41回大会の開会式、皇太子時代の天皇陛下は甲子園の貴賓室から行進する選手を見つめた。この中に下館一高の投手、宮田勲さん(松山南団地在住)がいた。(朝日新聞記事より)

入場行進の時、陛下の方をちらりと見ましたがどきどきしてすぐに目をそらしました。でも、苦しい生活の私たちに力をくれたように思えました。試合は宮城の東北に1-15で大敗燃え尽きましたヨ。

—その後—

卒業後は大手セメント会社に就職し役員に就任、茨城県の業界組合の理事長も10年を務めさせていただきました。これも野球を通じてお世話になった皆様方への恩返しが出来たのかなと思っております。(近所の喫茶店にて羽生記)

## 一番人気

## 自然観察会

### 幕末の豪農を観る

千葉県  
柏市

11月13日65才以上の方対象の「自然観察会」が行われた。参加者は45人。

千葉県柏市にある旧吉田家住宅歴史公園と布施介財天等を訪ねた。

旧吉田家住宅歴史公園内の旧吉田家はガイド付きで見学した。

6700坪の吉田家は、豪農・商家・士分をもつ大型の屋敷構えだ。主家は寄棟造り、重厚な茅葺き屋根は軒先で厚み1mという。中へ入ると土間、茶の間等すべてが広い。又、座敷から見る庭園は美しい。この日座敷ではCMの撮影が行われていた。



▲旧吉田家住宅の説明を受ける

の地蔵さんがあり、参加者の多くが頭や体をなでていた。

の会メンバーの高齢化も顕著だ。そのようなことから、配食は75歳以上のひとり暮らしの方対象の通常配食となった。

それでも女性部役員は前日から準備をし、当日は女性部の4班と共に、手の込んだ多彩な料理に腕を振るった。

こぶしの会メンバーは、女性部手作りが作った鍋敷きと出来たてのお弁当を手にお年寄り宅に向かった。お年寄りからは「いつもありがとうございます。大変だっただけでしょう。お疲れ様です」の声があった。こぶしの会メンバーからは、安否確認を終え安堵の笑みがこぼれた。

### 初荷 心のこもったお年寄りにやさしいお弁当

1月17日新年お楽しみ配食が行われた。

栄戸地区に於いても高齢化は急速に進んでいる。女性部やこぶしの会メンバーの高齢化も顕著だ。



▲お弁当と鍋敷



▲手わたしてほっと安心

## ありがとうフェスティバルin冬の陣

12月9日今年で2回目となる「フェスティバルin冬の陣」が開催された。

栄戸駅踏切を越えて、栄戸小学校方面へ向かう約400mが歩行者天国となり、道の両側には多くの店が並んだ。

冬晴れの寒い日であったが、近隣地区から出店した72のいろいろなお店は終始多くの人で賑わった。

チャリティーそば会場を訪れた皆さんは、2018年そば打ち大会で日本一となった仲山徹さん(松山団地2)の打ったそばに舌鼓を打っていた。

「地域の方々とのふれあい」を掲げる友高生は、友高まんじゅうを売り、茶道部がお点前を披露した。



▲人気の友高まんじゅう

